

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none">生徒の意欲を高め、進路選択に結び付く教育課程の改善に取り組む。ボランティア活動を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。	生徒の多様な進路希望に対し、生徒にわかりやすい総合学科としてのカリキュラムの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">生徒一人ひとりの自己実現・進路実現に向け各種ガイダンスを実施し、生徒が獲得した各自の進路希望に対応し、自主的積極的に課題に取り組めるよう、グループ学習や発表型授業を展開する。	<ul style="list-style-type: none">各教科で発表型授業・グループ学習を授業に取り入れることにより、生徒の授業参加がより主体的になったか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none">部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。教育相談コーディネーターを活用した生徒一人ひとりへの支援体制の充実を図る。	生徒の規範意識の確立を図り、豊かな心の育成に向けた取組みを充実させるため、ケース会議を開催し、外部機関や専門機関との連携を深める。	<ul style="list-style-type: none">日頃から生徒一人ひとりの変化に気づき、生徒の情報交換や支援体制を充実させるために、教科担当者会議および年次会を定期的に開催する。	<ul style="list-style-type: none">教科担当者会議を年1回、年次会を月1回開催できたか。					
3 進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none">「産業社会と人間」を基盤とした、生徒一人ひとりの進路実現に結び付く進路指導・支援体制の充実を図る。	(1)進路実現を図るため、進路情報を積極的に発信する。 (2)授業や部活動、学校行事の運営を通じてリーダーの育成と社会性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">適切な進路選択、進路実現に向けた指導が行えるよう、「秦総ライブラリー」をさらに充実させ、情報の共有化をさらに推進させる。また、進路分野別に情報紙などの発行や説明会を行いタイムリーで有効な情報を発信する。授業での積極的な発言、発表や各種行事への参加を促進させる。また、部活動や校外学習など体験的活動への参加を促進させる。	<ul style="list-style-type: none">「秦総ライブラリー」が、活用され、進路分野別に適切な情報を発信できたか。また、アンケートの結果、生徒が満足できる情報であったか。生徒による授業評価や授業担当者による評果が向上し、また校外学習など体験活動の参加者が昨年より増加したか。					

4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を核とした地域貢献を図る。 地域・社会との相互交流による教育の推進として、「南が丘地区豊かな心を育む協議会」との幅広い連携と協働を図る。 	<p>(1) ボランティア活動、あいさつ運動を核とした地域との連携を深める。</p> <p>(2) 地域の小・中学校や自治会と連携を深め、教育活動の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアバンクを活用して積極的にボランティアへの参加を図るとともに、地域のあいさつ運動においても、地域の方々とのあいさつを通して、生徒一人ひとりのコミュニケーション能力の育成を推進する。 南が丘地区にある幼稚園・小・中学校との連携をさらに推進し、地域の自治会等の行事に積極的に参加するなど、教育活動の充実に向けて連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに参加する生徒の延べ人数が昨年度より増加し、かつ参加する生徒の意識の向上が図れたか。 生徒の教育活動に対して、地域の方々からの感謝の言葉や、自治会等の協力的な支援が得られたか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。 コミュニティ・スクールを中心とした学校運営への変換を図る。 	<p>(1) 安全管理・危機管理等を踏まえた連携体制を整備する。</p> <p>(2) 学校と保護者や地域の方々力が合わせて取り組むコミュニティ・スクールのシステムを構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成績処理支援システムを用いた成績処理・帳票管理において、手順・点検を確認し、必要に応じて再整備を図る。 地域ボランティア部会とキャリア・連携部会の2つの部会を設置し、地域・保護者と協力して、教育活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 成績処理支援システムの運用において、手順・点検体制を整備できたか。 2つの部会を設置し、年3回以上運営できたか。 					